

各加盟チーム 様

千葉県卓球連盟
会長 佐野 暢俊
(公印省略)

千葉県クラブ卓球選手権大会兼第38回全日本クラブ卓球選手権大会千葉県予選会

1. 主催 千葉県卓球連盟
2. 期日 2019年(平成31年)4月28日(日) 午前9時30分開始
3. 会場 旭市総合体育館 旭市二の5491 (電話) 0479-64-1101
4. 競技種目 (イ) 男子:一般の部1部 (ロ) 女子:一般の部1部
(団体戦) (ハ) 男子:一般の部2部 (ニ) 女子:一般の部2部
(ホ) 男子:50代の部 (ヘ) 女子:50代の部
(ト) 男子:60代の部 (チ) 女子:60代の部
(リ) 男子:小・中学生の部 (ヌ) 女子:小・中学生の部
5. 県代表数 ①一般1部、一般2部、50代の部、60代の部 男女各1チーム
②小・中学生の部 男女各3チーム
6. 参加料 ①一般1部、一般2部、50代の部、60代の部 1チーム 6,000円
②小・中学生の部 1チーム 3,000円
7. 試合方法 **※すべての部で、ダブルスは3ゲームマッチ、シングルスは5ゲームマッチとする。**
※シングルスとダブルスの2試合に出場できるが、シングルスのみ2試合出場することはできない。
 - 一般の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する。但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番に出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
 - 50代の部 : **選手は50歳以上**で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する。但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番に出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
 - 60代の部 : **選手は60歳以上**で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録する。但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番に出場した選手は2番のシングルスには出場できない。
 - 小・中学生の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名(**小・中学生のみ**)を登録する。但し、監督のみでコーチがいないチーム編成も認める。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、1番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1番に出場した選手は2番のシングルスには出場できない。

1	2	3	4	5
小・中学生 or 小学生同士	小学生	中学生 or 小学生	小学生	中学生 or 小学生
8. 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②使用球はJTTA公認プラスチック球; 40mmホワイトのみを使用する。
③ゼッケンは2019年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。
④ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。
9. 参加資格 1) 参加者は、千葉県内に在住・在勤・在学のいずれかに該当する者で、2019年度(公財)日本卓球協会および千葉県卓球連盟の登録者で構成するチームであり、**選手は選手登録、監督・コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。**監督・コーチは必ず役員章を大会時、腕に付けること。

なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の（公財）日本卓球協会新規選手登録は認められない。また、日学連、高体連に加盟している者は出場することができない。

- 2) 参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とする。
 - 3) 出場者は（予選会を含めて）同一年度に一人一種目までとする。
 - 4) 卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
 - 5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
 - 6) 予選出場選手と本戦大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本戦大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。
 - 7) 前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件出場できる。但し、無条件参加資格を持つチームが、都道府県予選会に申込みをした場合は、申し込んだ時点で無条件参加資格を放棄したものとして取り扱う。
 - 8) 前年度ランキングチームが『前年度一般の部から50代の部』、『前年度50代の部から60代の部』に出場する場合、選手が4名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
 - 9) 外国籍の選手（日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く）は1試合1名1ポイントに限って参加資格が得られる。シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
 - 10) 日本卓球協会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
 - 11) 本戦大会に出場した代表チームの選手は、第一三共ヘルスケアレディース2019第42回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。但し、予選会を除く。
 - 12) 一般の部1部・2部男・女は、第69回全日本実業団選手権大会（本戦大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
 - 13) 一般の部2部男・女
 - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間（2016～2018年度）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ②過去3年間（2016～2018年度）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となる。
 - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。
※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。
- 全国大会 a) 全日本卓球選手権（一般・ジュニアの部）、 b) 全日本選手権（団体の部）、
c) 国民体育大会、 d) 全日本社会人卓球選手権、
e) 全国高等学校卓球選手権（シングルス・ダブルス）、
f) 全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 14) 50代の部男・女は、1970年（昭和45年）4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50歳以上）
 - 15) 60代の部男・女は、1960年（昭和35年）4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（60歳以上）
 - 16) 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年齢の低い者だけで構成してもよい。
10. 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を記入の上、参加料を添えて現金書留にて締切日までに下記の申込先に申し込んでください。
11. 申込期間 2019年（平成31年）4月5日（金）～4月16日（火）
12. 申込先
問合せ先 〒289-2504 旭市二の5850-4 加瀬 一 宛
電話・FAX共 0479-63-1513
携帯電話 090-1836-4249
13. その他 本戦大会 福島県 郡山総合体育館 令和元年10月11日（金）～14日（月・祝）